

○事業所名	NPO 法人はあとびあ21 エール		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 8日		～ R7年 1月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	R7年 1月 8日		～ R7年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>適切な支援の提供</b> ○日々の支援に対して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげるように努力している。 ○ガイドラインの4つの基本活動を組み合わせて活動プログラムを作成し、実施している。	○毎日、子どもの支援担当者を決めている。記録に当たっては支援開始前に個人記録ノートにある個別支援計画に目を通し、本人支援の課題を意識して支援(記録)するようにしている。	○個別支援計画の共通理解を図り、具体的な支援の仕方を研修する機会を設けていく。 ○活動プログラムの見直しを行い、個々の子どもがより積極的に楽しく取り組める内容を検討していく。
2	<b>関係機関や保護者との連携</b> ○日頃から子どもの情報を伝え合い、発達状況や課題について共通理解をしている。 ○児童館や公園等の施設を積極的に活用し、地域の子供と交流する機会を設けている。	○HUGシステムを活用し、保護者に支援の様子を伝え、共有している。早く伝えたいことは、迎え時に担当者から伝える。 ○児童館の行事を把握して参加している。	○保護者の要望に応じて相談を受ける時間を確保し、子どもの状況を共通理解して支援の在り方をともに考えていく。 ○相談支援事業所以外の機関(市の福祉課、発達支援センター、学校、病院など)と連携を図り、子どもの支援にあたる。
3	<b>環境・体制整備</b> ○子どもにわかりやすく構造化された環境を整えている。また、生活空間を清潔で心地よく過ごせるように気を付けている。	○スペースを学習、遊び、おやつ場などに分けて使用している。それぞれの場所での約束ごとを決めている。 ○備品の確認、毎日の清掃、机などの消毒を行い、安全で清潔な環境を心掛けている。	○子どもが、自分たちで約束ごとを決め、みんなが楽しく安全に過ごせる環境作りを意識できるように働きかける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<b>関係機関や保護者との連携</b> ○父母の会組織づくりができていない。保護者会を実施したが、保護者参加率が低い。 ○家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)を求める保護者に十分に対応できていない。	○開設から3年が経過し、今年度初めて保護者会や親子夏祭りを開催した。両者ともに土曜日の開催で、家庭の都合によって参加できない保護者が多かった。また、父母の会の必要感を感じていない保護者もいる。 ○ペアレントトレーニングの理解が不十分だった。	○父母の会を設立を保護者に図り、必要であれば、はあとびあ21全体で準備を進める。エールの4月の保護者会、8月の親子夏祭りは継続して行う。 ○相談支援員と連携して外部団体の支援情報を収集し、保護者に提供できるようにしていく。
2	<b>非常時等の対応</b> ○子どもの安全確保に関して、取り組み内容について家族への周知が不十分である	○避難訓練についてはHUGシステムで保護者に知らせているが、その他の事故、災害、感染症対応等について具体的な対応が保護者全体に分かりやすく説明されていない。	○マニュアルがHPで公開されていることや具体的な緊急時対応について保護者会で周知する。
3	<b>適切な支援の提供</b> ○勤務の体制上、支援開始前の打ち合わせ時間を取ることが難しい。 ○個別支援計画に基づいた支援の内容が、職員に共有されにくい。	○パート職員が多いため、常勤職員のみでの打ち合わせになる。伝達ノートや掲示板の活用を工夫して、打ち合わせ事項を伝えるようにしている。 ○具体的な支援の仕方がなかなか共有できない。	○職員の勤務開始時間を繰り上げ、その日の職員全員で打ち合わせを行うことを検討していく。 ○ミーティングだけでなく、日常的に支援の仕方を伝える場を増やしていく。